

文化財ニュース No.54

編集・発行 加古川市教育委員会 文化財調査研究センター

文化財調査研究センター ■住所 加古川市平岡町新在家1224-7 〒675-0101 (中央図書館2階、JR東加古川駅から北へ徒歩約10分) ■電話 (079)423-4088 ■FAX (079)423-8975 ■事務取扱時間 平日9:15~18:00(土・日曜、祝休日、12月29日から翌年1月3日まで、毎月第2月曜は休所) ■加古川市ホームページ <http://www.city.kakogawa.hyogo.jp/>

新しい指定文化財

3月4日の定例教育委員会で、文化財審議委員会の答申を受けた鶴林寺の追儼面(鬼面)3面が、新しく市指定文化財に指定されました。

これにより、市内の指定・登録文化財は、国指定23件(うち国宝2件)39点、県指定32件54点、市指定56件1,375点と、国登録9箇所37件となりました。

多くの文化財を所蔵する鶴林寺では、平成24年の国宝太子堂再建九百年記念に向けて、現在、文化財収蔵庫の建設をはじめ整備事業が進められています。

これらの指定文化財をはじめ、市内にはたくさんの文化財があります。地域の文化財は、心豊かな生活のために活用していくとともに、未来の人々のためにたいせつに保存していかなければなりません。

追儼面 3面 市指定 彫刻

各木造 赤鬼面/縦30.3cm 横26.5cm、
青鬼面/縦34.5cm 横25.9cm、
古鬼面/縦32.3cm 横25.8cm

室町時代—江戸時代初期/15—17世紀

鶴林寺所蔵 加古川町北在家424

赤鬼面と青鬼面は、鶴林寺の修正会に執り行われる「鬼追い」または「追儼式」と呼ばれる儀式に使用されています。また、表面の彩色が落ちたもうひとつの面も、赤鬼面との作風の共通点から、鬼追い儀式に使用されていたと考えられます。いずれの面も、大きな鼻や誇張された眉や口など、憤怒の表現というよりもむしろユーモラスなものとなっています。

赤鬼面は、朱色に塗られ、頭部の左右に二角を表し、口を大きく開き、迫力のある眉と大きく見開いた目が特徴的です。古鬼面と作風が類似しています。室町時代の制作と考えられ、材質はクスノキなどの広葉樹系のものと考えられます。

青鬼面は、深緑色に塗られ、金色に塗られた一角を持ち、口は



赤鬼面



青鬼面



古鬼面

閉じ、目は垂れています。赤鬼面や古鬼面と作風が異なり、少し新しい制作と考えられ、材質は内側の木目からヒノキ材と考えられています。

古鬼面は、彩色が取れていますが、輪郭、眼、眉、耳の表現が赤鬼面と共通しています。頭頂に大小の角を前後に彫出し、口は閉じ二本の牙を上出しています。材質及び制作年代は赤鬼面と同様と考えられます。

これらの鬼面は、制作が中世まで遡ると考えられる市内で最も古い追儼面であり、加古川市を代表する追儼式の鬼面として貴重なものです。

なお、「鶴林寺鬼追い」は、毎年1月8日の修正

会の中で行われ、平成13年（2001）に加古川市無形民俗文化財の指定を受けています。



鶴林寺鬼追い

文化財関係出版物

文化財調査研究センターでは、文化財関係出版物を取扱っています。購入をご希望の場合は、直接、来館ください。郵送の場合は、送料などが必要ですので、電話で詳細をご確認ください。

【普及図書】

『加古川市の文化財』（1988年改訂、A 5判 123頁）	1,000円
『加古川市文化財図録』（1995年、A 4判 107頁）	3,800円
『加古川市遺跡分布地図』（1994年改訂、A 4判 291頁）	1,800円

【文化財調査報告書】

『 <small>おくしん でん</small> 奥新田西古墳』（2000年、A 4判 41頁）	500円
『 <small>ぎやう じゃづか</small> 行者塚古墳シンポジウム記録集』（1998年、A 4判 98頁）	1,000円
『 <small>みぞの ぐち</small> 溝之口遺跡Ⅰ』（1992年、A 4判 112頁）	8,000円
『加古川市の民俗』（1985年、B 5判 291頁）	1,200円
『カンス塚古墳』（1985年、B 5判 16頁）	200円
『加古川市埋蔵文化財集報Ⅰ』（1983年、B 5判 28頁）	500円
『 <small>ひがしなか</small> 東中遺跡』（1981年、B 5判 106頁）	1,200円
『 <small>ひろ お</small> 広尾東遺跡』（1980年、B 5判 14頁）	500円
『 <small>やまの ね</small> 山之上遺跡Ⅰ』（1977年、B 5判 8頁）	200円
『岸遺跡』（1972年、B 5判 23頁）	200円

加古川市史を好評発売中

考古、古代から現代までの加古川地方の歴史を詳しく記した『加古川市史』を発売しています。本編3巻、史料編4巻、別編2巻で、文化財を含めた貴重な資料を掲載しています。

市役所行政資料室で1冊から購入できます。詳しくは、市役所総務課（☎079-427-9133）まで。

調査と報告

市内遺跡発掘調査

加古川市教育委員会では文化財保護のため、開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を行っています。

平成22年4月から12月までの住宅建設等に伴う確認調査や本発掘調査の件数は22件でした。

民間開発事業に伴う溝之口遺跡の発掘調査では、多くの土器や板片などが出土しました。

野口町の坂元遺跡では、本発掘調査で古代の溝が出土しました。溝之口遺跡の個人住宅建設に伴う調査では、弥生時代の石斧等が出土しました。



溝之口遺跡（奈良時代の溝）

発掘調査報告書の刊行

平成21年度に刊行した文化財調査報告書は以下のとおりです。

- 『加古川市遺跡分布地図第3版』
- 『野新村1号窯発掘調査報告書』

保護と活用

加古川市教育委員会では、地域の文化財の保護を行うとともに、説明板の設置や文化財の公開を行います。文化財保護協会をはじめ、地域の団体や機関とともに、文化財の保護と活用に取り組んでいます。

西条古墳群史跡整備事業

加古川市教育委員会では、平成17年度から国指定史跡西条古墳群の史跡整備事業を実施しています。

平成21年度は行者塚古墳の整備を行いました。行者塚古墳の整備は、西造り出しに円筒埴輪列、家形埴輪、土製供物類の複製品を据え、当時のマツリの状況を推定復元しました。複製の埴輪はすべて信楽焼です。これによって行者塚古墳の整備は全て終了しました。

平成22年度は、人塚古墳の墳形を確かめるための発掘調査を実施しました。調査の成果については、来年度の文化財ニュースで報告できると思います。

皆様も、是非、西条古墳群史跡公園にお立ち寄りください。見学は雑草の少ない秋や冬がおすすです。



行者塚古墳西造り出し整備状況

文化財講座・市内見学会

地域の歴史や文化財についての理解を深め、文化財講座や市内見学会を開催しています。

平成22年度は、青少年女性センターを会場に、10月9日(土)「古建築の魅力と保存－鶴林寺本堂、太子堂の修理から－」(丸石暢彦先生)、10月30日(土)「『聖なる水』のまつりと行者塚古墳」(大道和人先生)、11月6日(土)「三木合戦と東播磨の諸城主の対応」(上月昭信先生)を開催し、延べ238名の皆さんの参加がありました。

また、10月3日(日)には、「人塚古墳及び西条廃寺史跡めぐり」を開催し、雨天の中、20名の参加がありました。

文化財の公開

少年自然の家(東神吉町)の敷地内にある県指定文化財本岡家住宅を公開しています。この建物は元

禄時代に建築された大型民家で、昭和44年に県指定となり、平成10年に現在の場所に移築復元されました。

建物内部には農耕具を中心に民具、そして、洪水災害の救助に使用された水防飛来船という明治時代に造られた救助船を展示しています。

毎年、子供の日（5月5日）、文化財保護強調月間（11月下旬）、少年自然の家無料公開日に建物内部を特別公開しています。

お問い合わせは、文化財調査研究センター（☎079-423-4088）まで。また、少年自然の家無料公開日は少年自然の家（☎079-432-5177）まで。



本岡家住宅

伝統文化こども教室

我が国の長い歴史と伝統の中から生まれ、守り伝えられてきた伝統文化を、将来にわたって確実に継承し、発展させるとともに、子どもたちが歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深め、尊重する態度を育て、豊かな人間性を涵養することを目的としています。

文化庁から委嘱を受けた財団法人伝統文化活性化国民協会が募集し、各地域において、地元にも根ざした活動を行っている団体が、次代を担う子どもたちに、伝統文化を体験・修得してもらう事業を実施するものです。平成22年度は全国で約4,900教室、加古川市内では14教室が開催されました。

○伝統文化いけばなこども教室（いけばな小原流加古川つつじの会）

- 播磨王将会こども将棋教室（加古川市将棋協会）
- 野口公民館子ども将棋教室（野口公民館）
- 加古川こども粘土教室（加古川陶芸研究会）
- 陵南こどもいけばな教室（清保会）
- 銭太鼓こども教室（銭太鼓こども教室）
- 伝統文化こども茶道教室(裏千家淡交会東播支部学校茶道連絡協議会)
- 西神吉町こども将棋教室（西神吉町将棋保存会）
- 日本の伝統文化いけばなこども教室（日本の伝統文化いけばなこども教室）
- 野村伝統文化子ども教室（野村祭り保存会）
- 播磨かるた会（播磨かるたの会）
- 獅子舞こども教室（福留獅子舞伝承こども会）
- 伝統文化かこがわ箏こども教室（NPO法人邦楽指導者ネットワーク21加古川支部箏曲椰の会）
- 宮前獅子舞子供教室（宮前獅子舞保存会）

（ ）内は実施団体名

加古川市文化財保護協会の会員募集

市内の文化財ならびに自然風土を保護し、これらに関する研究とその知識の普及をはかり、市民文化の向上に資することを目的として、昭和51年から活動しています。お問い合わせは文化財調査研究センター（☎079-423-4088）まで。

主な事業：文化財見学会、文化財説明板の設置、文化財講座の協力

会費：一般会員 年間2,000円



文化財講座